

2020年4月30日

クラウド名刺管理サービス「Sansan」を導入

～全行の人脈情報データ化による業務効率化とマーケティング高度化を実現～

株式会社 千葉興業銀行（頭取 梅田 仁司）は、2020年5月1日（金）より、Sansan 株式会社（代表取締役社長 寺田 親弘）が提供するクラウド名刺管理サービス「Sansan」を県内金融機関で初めて導入することといたしました。

これにより当行は、全行の名刺のデジタル化による人脈情報共有化を図り、業務効率化・生産性向上およびマーケティングの高度化を推し進めてまいります。

また、「Sansan」の導入だけにとどまらず、Sansan株式会社がこれまでに培ってきた、リモートワーク環境を構築し持続的成長を実現するノウハウを同社より提供いただくことで、デジタル活用による働き方改革を進めてまいります。

Sansanの導入による効果

- ・組織全体の人脈共有による、生産性の向上

「Sansan」を導入し、行員・スタッフが持つ名刺をデジタル化することにより、人脈情報の共有を属人的な形ではなく、システムチックに行うことができるようになります。これにより、営業活動のすれ違いがなくなるだけでなく、人事異動時のスムーズな情報連携・業務引き継ぎなどが行え、労働生産性の向上・業務の効率化が期待されます。

- ・名刺を起点にマーケティング高度化・効果の高い情報発信

名刺をデジタル化することによりお客さまのメールアドレスがデータ化されます。メールアドレスを活用し、素早い情報の提供や今まで情報を提供できていなかったお客さまへ情報を提供することができるようになります。

- ・高いユーザビリティで営業の効率化

名刺をスキャンするだけで、名刺情報を手間なく正確にデータ化しクラウド上で管理することができます。組織内の接点情報が可視化され、更新情報が自動で通知されます。パソコンやタブレットから他の行員が交換した名刺情報を確認でき、営業の効率化につながります。

当行は引き続きデジタル化推進を通して、業務の効率化とお客さまへのサービス向上を図ってまいります。

Sansan株式会社について

会社名：Sansan株式会社

代表取締役社長：寺田 親弘

設立：2007年6月11日

事業内容：クラウド名刺管理サービスの企画・開発・販売

URL：<https://jp.corp-sansan.com/>

以上